

自然に包まれた学校生活

を
覗いてみよう

布礼別小中学校①

移住を考えたとき、子どもの教育問題は、かなりの比重をしめる問題と考えます。自然豊かなこの地方では、過疎化・少子化のため小規模校も多いのが現状です。「学校マップ」で示したように、この地域には、小学校から高校まで53の学校があります。それぞれの学校で、それぞれの環境を生かした教育活動がなされています。全部を紹介できないのは残念ですが、この地域ならではの活動をしている学校・サークルを取り上げてみました。この地域の学校生活の一端でもわかっていただけたらと思います。(取材 大場恭秀・太田文・小場なつき)

綺麗な十勝岳が好き

美瑛町の美沢小学校は、全校生徒29名の小規模校です。学校の敷地は5ha。日本の農家の平均敷地面積が1haといえますからその広大さがわかります。校庭の一角には公園のようなスペースやビニールハウスがあり、冬季にはクロスカントリーコースも設営されます。美瑛町の景観の象徴である十勝岳を愛

し、この環境を守ってという美沢小学校では4年生になると「十勝岳愛護少年団」に入団します。4年生以上が全員参加して、毎年6月第3日曜日の十勝岳山開きにはゴミ袋を持参し、清掃登山を行います。また、8月上旬には、近隣の学校と持ち回りで清掃登山やバーベキュー、キャンプファイヤーを通して交流会も開いています。地域の住民は、ほとんどが美沢小学校の卒業生。地域ぐるみで美沢小学校の活動をバックアップしています。農業を基本とした地道な人育てが美沢小学校の特徴です。



十勝岳愛護少年団の清掃登山(美沢小)



ただいま授業中(江幌小)

秘密基地が .. あっ! 内緒です

上富良野町の江幌小学校は全校生徒13名の小規模校です。今から20年前、特認校に指定され、同時に校舎も新築されました。白が基調の近代的な建物です。特認校とは「豊かな自然や少人数のよさを生かし、体験活動や心のふれあいを通して児童を育てることを目的に本来の学区を超えて通学できる学校」です。学校の横には湧水でできた池(ザリガニ池)、グラウンドの向かいには農園(わくわく農園)と自然がいっぱいです。また、学校所有の裏山(明治が丘)があり、子どもたちの格好の遊び場になっています。秘密基地もあるのです。名前を言わなければ入れてもらえません。あっ、秘密基地ですからこれ以上は内緒です。授業の遅れがないように、放課後相談会で、算数の学習も行っています。2012年1月には、全校生徒で漢字検定に挑む目標を立て、がんばっています。



花文字のペンキ塗り作業(中富良野中)

花文字縁石の 化粧直しも

中富良野中学校の全校生徒は177名です。中富良野中学校にはリーダーサークル「うらら」というボランティアクラブがあります。現在は16名のメンバーが活動しています。北星山町営ラベンダー園内には、国道237号からも見える「なかふらの」の大きな花文字があります。「うらら」のメンバーは、夏の観光シーズンを前に、観光協会の会員や母子会などと協力して花文字の縁石に白いペンキを塗って化粧直しをします。1文字

記者レポート 北へ南へふらびずム

【取材協力と写真提供】 美瑛町立美沢小学校 上富良野町立江幌小学校

JR根室本線 美瑛駅

まるまるえき
○○駅
徒歩10分
第8駅

▲外観はカヌーのイメージ ▶ご当地グルメはエゾカツカレー

幾寅駅は、駅舎も待合室も駅前も1999年に制作された映画「鉄道員(ぽっぽや)」の舞台「幌舞駅」そのものです。駅名の表示も「幌舞駅」です。「幾寅」の名を探すと、駅舎の右上隅に小さな「JR幾寅駅」の表示がありました。観光客の記念撮影のフレームからはずれるように配慮したためでしょうか。そんな幾寅駅から徒歩10分:カヌーの船先(へさき)をイメージした

「道の駅南ふらの」です。入り口ホールにはヒグマのはく製、大型水槽の中にはイトウやニジマスなど、空知川に生息する魚を見ることができます。特産品の販売はもちろん、シカ肉のご当地グルメ「エゾカツカレー」が食べられる食堂があります。2階には、南富良野に自生する樹木の見本木やカヌーの展示もあります。団塊世代の私は「JRの駅」と「道の駅」二つの「駅」の人の流れと

物の流れに、時代の変遷を感じます。なーんて、大げさな見方かな?と思いつつ、次の駅に発進です!(恭)



▲JR幾寅駅 映画のセットをそのまま使用 ▶正式な駅名は小さく表示

ママの 休けい時間

- 9時間目 -

富良野駅市街から五条大橋を越え約8kmの山部地区に「ふらのやまべ美(び)ゅーじあむ ふらび」があります。名寄出身の代表三井郁弥さんは人生の苦しい時期に出会った万華鏡が再出発のきっかけとなり、2009年旧山部第一小学校を万華鏡専門ミュージアムとしてオープンしました。玄関では「ウェルカム万華鏡」と題されたワイン樽が来館者を迎え、築100年を超える



①きっかけはアメリカ ナップ夫妻の作品 ②芦別岳を望む「ふらび」は築100年の元小学校 ③万華鏡作りも体験できます

体感することができます。かつての図書室と音楽室では「映華鏡(えいげきょう)」と呼ばれる投影式万華鏡が不思議な異次元の空間を創り出し、体育館には大型の万華鏡、理科室には三井さんの貴重なコレクションが整然と展示され、世代を超え愛される幻想的な万華鏡に様々な形で触れることができます。「学校」という空間で味わう万華鏡の世界は子どもの心に戻る魔法の時間です。(文)



富良野産ワイン樽のウェルカム万華鏡

木造の校舎では日本を代表する万華鏡作家依田満・百合子夫妻による独創的なオリジナル万華鏡の数々を

ふらのやまべ美ゅーじあむ ふらび
☎0167-42-3303
富良野市山部西14線2番地
営業: 冬期 11:00~17:00※要予約
夏期 10:00~18:00
交通: 最寄り駅はJR山部駅